

ブラックバス防除ウィーク

(全国一斉「STOP! ブラックバス」ウィーク)

とは、こんな活動です。

Q.なぜブラックバスの駆除と密放流防止が必要なのですか？

アメリカから持ち込まれた大型の外来魚ブラックバス(オオクチバス、コクチバス)は、ブラックバス釣りという遊びの人気にともなって、日本全国に広がりました。影響がなければそのままほうっておけばいいのですが、残念ながら、地域によっては生態系や在来生物の生息状況にひどい影響が出るというのが、多くの研究者の意見です。そのため、2005年6月に施行された「外来生物法」でも、ブラックバスは同じく外来魚であるブルーギルなどとともに輸入や飼育が規制される「特定外来生物」に第一次指定されました。

けれども、ブラックバスはすでに全国各地に密放流され、生息しているうえ、法律が施行された今なお、新たな密放流も止まっています。ひどい影響が出たため、お金や人手をかけて駆除したため池などに、再び密放流されることも少なくありません。日本からブラックバスをなくしていくためには、全国各地で地道な駆除作業を行なうとともに、密放流が被害の大きな犯罪だということ、駆除には各地域の皆さんのご協力が必要だということを、多くの皆さんに知っていただく事が大事です。つまり、ブラックバスの駆除と密放流の防止は、いっしょに行なう必要があると私たちは思っています。

Q.全国ブラックバス防除市民ネットワークとはどんな集まりですか？

全国ブラックバス防除市民ネットワークは、32の団体からなる連合会です。会員団体はすべて、全国各地で湖沼河川の生態系や生き物を守る活動や、自然に親しむ活動を行なっている市民団体です。各地で守りたい・残したい生態系や生き物を守っていくためにも、自然に親しみ、自然を楽しむ活動を続けていくためにも、外来魚ブラックバスの防除活動(駆除や密放流防止活動など)が不可欠ということに気づき、各団体はそれぞれ、やむなく駆除や密放流防止に取り組んできました。しかし、いくら駆除しても再び密放流されたり、その危険にさらされる実情を考えると、それぞれの団体が個別に活動を行なうことに限界を感じ、情報交換や協力し合うことを目的にネットワークを作ることにしました。そして、2005年11月に15団体が集まり、ネットワークが結成されました。現在は32団体が会員となっており、今後も広く会員団体を募集していく予定です。

Q.「全国一斉ブラックバス防除ウィーク」とは何をする活動ですか？

駆除してもすぐまた密放流されてしまうブラックバスを、日本から減らしていくためには、少数地域で駆除活動を行なっても効果がありません。より多くの、一般市民の方々にブラックバス防除の必要性を知っていただき、ブラックバス防除が日常的な河川湖沼の保全活動に組み込まれていくようにすることが必要だと、私たちは考えました。そこで、昨年に引き続き今年も5月23日(土)～5月31日(日)を「全国一斉ブラックバス防除ウィーク」とし、各地でさまざまなブラックバス防除イベントを行なうことにした次第です。さらに、私たちだけでなく、より多くの皆様に呼びかけを行ない、参加をお願いすることにしました。すでに、河川湖沼の漁協の連合会である全国内水面漁業協同組合連合会のご賛同もいただいています。

ブラックバスのほかにも影響のある外来魚は数多く、また、河川湖沼の環境問題はバス問題だけではなくありません。しかし、ブラックバス防除は緊急を要する問題であり、しかも、各地の皆さんがどんな川や湖を守り、子どもに伝えて行きたいのかを考える、かっこうの材料ともなる環境問題・社会問題だと思います。全国の市民団体・市民の皆さん、どうか「全国一斉ブラックバス防除ウィーク」にご参加ください。そして、私たちといっしょにどんな川や湖を守り、取り戻したらいいのかを考えてください。

全国ブラックバス防除市民ネットワーク (会員団体五十音順)

秋田淡水魚研究会、阿武隈生物研究会、生駒の自然を愛する会、(NPO)岡山淡水魚研究会、香川淡水魚研究会、(NPO)亀岡人と自然のネットワーク、外来魚問題連絡会in北海道東北ブロックML、近畿大学バスバスターズ、(NPO)宍塚の自然と歴史の会、(NPO)自然を考える釣り人の会、(NPO)シナイモツゴ郷の会、(有中)水生生物保全研究会、(NPO)生態工房、生物多様性研究会、生物多様性保全ネットワーク新潟、ゼニタナゴ研究会、田沢湖生物研究会、土浦の自然を守る会、(NPO)鶴岡淡水魚夢童の会、手賀沼水生生物研究会、東海タナゴ保全研究会、東京勤労者つり団体連合会、ナマズのがっこう、琵琶湖外来魚研究グループ、琵琶湖を戻す会、びわ湖サテライトエリア研究会、ブラックバス問題新潟委員会、(NPO)水辺と生物環境保全推進機構、深泥池水生生物研究会、三ツ池公園を活用する会、(財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、淀川水系イタセンバラ研究会